

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	電子情報3年	科目コード	37400130
科目名	国語 Japanese				
担当教員	曾田 友紀子				
単位数(時間数)	必修 通年 2単位 (60時間)	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	1・2年で学習した知識を基礎に、現代文、古典両分野における知識を広げ、深めることで、国語力の涵養に努める。				
先修科目	国語				
後修科目	国語 ,文学				
備考	前期は2年次の教科書、テキスト等を使用しながら、小論文作成に取り組む。 後期は教科書、テキストを講読しながら、竹取物語、源氏物語を理解し、演習発表を行う。				
	授業項目	時間	内容		
1	ガイダンス 書写の意味	2	1年間の授業予定を理解する。 前期の課題を理解する。		
2	小論文 執筆準備	2	執筆準備の一環として、論理的な文章の構成、表現、展開を理解する。		
3	コミュニケーション力の必要性	2	ビデオを視聴し、高専卒業後に求められる国語力を理解する。		
4	情報収集	4	所定の方法に倣い、各自の演習発表資料を図書館、情報教育センターを利用しながらまとめる。		
5	執筆	10	各自の興味、関心に合致、意見を述べる題材を探す。 報告ではなく、各自のテーマに基づく小論文を書くための準備をする。		
6	推敲	4	仲間同士読み合い、構成や展開を補正する。 段落ごとに項目をたて、キーワードや主題文を割り振ることができる。		
7	相互評価 相対化	6	口頭発表を通して、自分を相対化する力を養う。各自の小論文を読み合い、意見や感想を書く。友人の文章を読むことで、意見や表現、考え方の多様性を認める。		
8	古文の世界を理解する	2	便覧等を参考にして、古典への理解を深める。		
9	平安時代の物語 古文を原文書写する意味	2	原文書写や口語訳を通して作者の息使いを理解する。		
10	竹取物語・源氏物語	2	竹取物語・源氏物語のあらすじ、内容や背景を理解する。		
11	作品の流れに即した内容理解	4	現代語訳を行い、問題集等の場面を中心に古典の原文読解試みる。		
12	演習発表	6	作品の構成、表現、内容を理解し、各自の視点から問題意識をもち、調べられる。		
13	演習発表	14	論理的な文章を各の価値観に基づいて、各自の根拠のある意見を伝えることができる。		
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	自分の興味・関心に基づく主題を選び、読む人にわかりやすく平易な文章や口頭発表で自分の考えや意見を伝えることができる。 以上を達成することで、学習・教育目標(A-1)に至る一つの段階の達成とする。				
成績評価	小テスト、授業準備、課題提出、演習発表、自由課題等で評価し、前後期の平均点で学年総合成績をつける。				
教材	教科書 『精選 古典 改訂版』大修館 『現代文2 改訂版』大修館 参考書 『カラー版新国語便覧』第一学習社 『書いて覚える高校生の漢字学習』とうほう 源氏物語の問題集 現代文の問題集 古語辞典 国語辞典 『ピギナーズクラシックス 竹取物語』角川ソフィア文庫				
オフィスアワー	毎週月曜日午後4時から5時まで。会議等で不在の場合もあるが、適宜、質問・相談に応じる。教員室：一般科棟1階 112				